

人生に駆けぬける喜びを。 世界に広がるクラシック BMW パーツ



モービル・トラディション その名が全てを表しています。全世界で約 600 のクラブ、20 万人を超える BMW ファンが BMW の歴史を紡ぎ続けています。ブランドの愛好家たちが所有する世界で 20 万台以上のクラシックカー、7 万台以上のクラシックモーターサイクルの多くは、博物館やガレージで埃を被ったまま眠っておらず、今も公道を走り続けています。これには当時から優れていた BMW のテクノロジーはもちろん、今日のパーツ供給が大きく貢献しています。

BMW モービル・トラディションはパーツの在庫を約 24,000 個網羅しており、その多くが 1948 年以降に生産されたクラシックカーおよびクラシックモーターサイクルのパーツです。BMW 2002 や R 75/5 など、在りし日の夢を実現させたいと願うファンも、修理やメンテナンスを心配する必要はありません。2 輪、3 輪、4 輪に限らず、全ての BMW クラシックカーには交通当局の認証を完璧に取得して欲しい。これこそが、BMW モービル・トラディションの哲学なのです。

戦後のクラシックカーが中心

1948 年の R 24 に始まり、モデルが新しくなればなる程、入手可能なパーツの数は増えます。R 24 単気筒バイクは、戦後初めて販売された BMW のロードバイクで、このモデルからバイクの量産が再開されました。

直近では、1981 年から 1988 年まで生産された BMW 5 シリーズの第 2 世代が BMW モービル・トラディションに加わりました。

以降に生産されるモデルについて、どのパーツをアイテムリストに入れるかは顧客が決めます。クラブ、BMW クラシックカーのドライバー、そして市場と密接に関わり続けることで、BMW モービル・トラディションのエキスパートは、何の需要が最も高いかを正確に把握しています。

通常、BMW におけるパーツの供給はモデルの生産終了から自動車では 15 年、モーターサイクルでは 20 年です。その後 BMW モービル・トラディションに移管され、全てのクラシックモデルがずっと走り続けていける体制が整っています。ドイツでは、法律で定められているパーツの供給期間は生産終了後からわずか 10 年です。

テクノロジーに特化した BMW Z1 のパーツ供給も保証

これには例外もあります。その 1 つは、最初から“クラシック”として生まれた BMW Z1 です。1991 年まで生産されていたこのモデルは、テクノロジーに特化したモノコック構造デザインの 2 シーターで、外皮には特別な合成材料を使用し、ドアはサイドシルの真下に動きます。

このモデルのパーツの供給は、生産終了から 7 年後に BMW モービル・トラディションから開始されました。その主な理由は、BMW Z1 は非常に特別な量産モデルであり、生産台数も 8,000 台に限定されていたためです。

特定のモデルシリーズのパーツ供給がモービル・トラディションに移管されると、まずディンゴルフィン工場にある BMW パーツ供給センターに保管されている既存のパーツが BMW モービル・トラディションに移されます。

これにより、関連パーツの生産に使用するツールおよび装置に対する責任は BMW モービル・トラディションが負うこととなります。

こういったツールに関する決定は、慎重に下さなければなりません。ひとたび生産設備が廃棄されてしまうと、将来的にオリジナルの関連パーツが生産できなくなってしまうからです。さらにモービル・トラディションのエキスパートは、BMW が生産工程で使用する工具類のみならず、BMW のサプライヤーが使用する重要な生産設備の今後をも決定します。

ツールの保管にも十分なバックアップを

ボディーのプレスツールや、モデル毎に形状が異なるパーツの型は、生産設備の保管リストの上位を占めています。さらに、今後の生産に重要なツールや設備は全て保管されます。

最高のツールでさえも、耐用年数には限りがあります。そういったツールが役目を終えて廃棄処分される一方、最も重要な資産であるデザインや構造計画は、モービル・トラディションで保管されます。

こうしたツールで生産されるパーツの在庫が少なくなると、モービル・トラディションは新しいツールの生産を開始します。特定のパーツの需要や、現在も走行している車の数を考慮し、モービル・トラディションのエキスパートは既存の在庫がどのくらいもつかを厳密に計算することができます。

100%オリジナルの材料、外観、品質

完全に機能し、見た目も完璧なクラシックカーだけが信頼に値し、時代の目撃者となり得る」というBMWの明確な目的のもとにモービル・トラディションが誕生した1994年以降、このシステムは非常にうまく機能しています。過去に生産された自動車やモーターサイクルでこれを実現することは決して簡単ではありません。モデルが古くなればなるほど、必要なパーツの復元は難しくなります。

そのため、チームワークが重要となります。セールス、パーツ・エンジニアリング、設計、購買といった各部門が協力し、最新モデルの生産と同様に綿密な生産計画を立てられます。

まず、部分に関する情報が全て集られます。最も重要なのは、パーツのオリジナルの材料、当時の加工プロセス、構造や表面上に施された特殊加工の有無です。

既存の古いパーツと調和した形で使われる場合、使用する材料の品質、とりわけエンジンやトランスミッションは非常に重要となります。

ここでも、残っている図面、見本、技術データなど利用できる情報は全て重要となります。BMW Groupでは、90年にわたるBMW製品の歴史で蓄積した何十万もの技術的データ、詳細、デザイン図面などを広範囲にわたって保管しています。

パーツの復元にも、真のチームワークが肝要

次は、テクニカルサポートおよび購買部門です。クラシックパーツを適切な方法、適切な品質で製造できるサプライヤーを探すことが課題となります。クラシックパーツの品質に対する要求は、今日生産されているモデルのそれと変わらないので、プレミアムなサプライヤーのみが対応できます。

一部の製造方法はもはや時代遅れでどこも対応できない場合があるので、プレミアムなサプライヤーを探すのも簡単な仕事ではありません。また、生産するパーツは少量でも、コストは妥当な範囲内に収まっていなければなりません。

従って、新たに生産したパーツの価格をオリジナルパーツの価格にできるだけ近づけ、出来る限り多くのファンに、クラシックカーでも「駆けぬける喜び」を提供することこそがBMWモービル・トラディションの基本職務なのです。

ふさわしいサプライヤーを見つけたら、次は必要な生産ツールを作ります。デザイン図面がまだ残っていれば、比較的簡単に作ることができます。データが無い場合は、既存のパーツを使って正確な型を測定する必要があります。ここでもモービル・トラディションのスペシャリストがサプライヤーと協力し、起こり得る問題を迅速かつ徹底的に解消していきます。

こうしたツールで生産されたパーツの第1号は、BMWエンジニアリングのスペシャリストによって厳密に評価および検査されます。例えばドアヒンジはぴったり合い、ドアがきっちり開閉し、継ぎ目もオリジナルと全く同じでなければなりません。

これらの必要条件を全て満たすため、第1号のパーツは実際に車に取り付けられます。BMWの品質規格を満たすため、パーツ工学スペシャリストの最終チェックをパスして実際に生産が開始される前にも、部分の複雑さに応じて繰り返し検査やツールの最適化が行われます。

全てのお客様に完璧な品質、完璧なパーツを提供するために、BMWのセントラル・ウェアハウスでパーツが保管されるまで、品質は常にチェックされます。

2006年だけで1,400ものパーツを復元

BMW モービル・トラディションが設立された1994年からこれまでに、供給パーツ総数の半分以上を占める14,000ものパーツが復元されました。言い換えれば、モービル・トラディションが復元したパーツ無くしてクラシックパーツの販売や供給はできず、真のクラシックカーや本物の伝統はあり得ないのです。

復元されたパーツは、可能な限り長期にわたって安定した供給を確保しなければなりません。パーツの数は年を追うごとに増えていきます。例えば昨年では、1,400ものパーツの再生産が開始されました。その中には、シャシーのラジエーターホース、シール、エラストマーユニットといった、継続的に再生産されているパーツも含まれています。

しかし、全てのパーツを永久に保管しておくことができないのも事実です。例えば使用していなくても、ゴム製品などは経年劣化してしまいます。

それ以外のボディーパーツや構成パーツなど、その多くは一度生産すれば、「永久に」在庫として保管しておくことができます。

これらにかかる工程を考えると、当然クラシックパーツの生産には時間がかかります。それどころか、復元が決定されてから実際に顧客に納品されるまでには、平均して6ヶ月以上もかかるのです。

オリジナルの材料が廃盤、または加工手段が限られているときには、サプライヤーの選定に更に時間がかかります。このような場合、BMW モービル・トラディションのエンジニアおよびテクニシャンが、同等またはより良いパーツに交換ができるよう、半完成品または完成品の全ての工程をチェックします。

安全に関連したパーツは、オリジナルのサプライヤーだけ

このような選定手順は、車のブレーキ等の安全に関連した構成パーツでは特に要求が厳しくなっています。BMWの社内基準によると、こういった構成パーツはBMWの開発部門の承認を得た、オリジナルのメーカーのもでなければなりません。関連する構成パーツは「オリジナルのBMWパーツ」でなければならないという原則が、全てのケースに適用されています。

オリジナルのサプライヤーがもはや存在しない場合にのみ、BMWの開発部門が力を発揮します。新しいサプライヤーが提供する同パーツを、オリジナルパーツを担当するエンジニアが承認するか、または全く新しい検証プロセスを開始します。

1つの例を挙げると、パーツナンバー34 11 0 004 531 は、BMW 501/502 “バロック・エンジェル”やエレガントな503クーペ、BMW 507 スポーツカー用に復元されたブレーキディスクですが、元は1950年代に生産されたものです。

古いエンジンに生命を吹き込む :BMW の交換エンジニアがクラシックエンジンも担当

不良品や使用済みの自動車パーツは、必ずしも新しいパーツと交換する必要はありません。エンジンやトランスミッション、オルタネータ、電子制御ユニットは、修理や調整に向いています。

このプロセスでは、完璧なオーバーホールが必要なクラシックエンジンでも、新品のエンジン同様ランツフト工場で分解され、修理が施されます。エンジンの製造年や装備されていたモデルに関わらず、BMW がオーバーホールしたエンジンには新品同様2年の保証期間が付与されます。

この場合、新品と同じ品質、機能を備えたエンジンとの交換が原則です。中立の立場で、どこにも属さないテストにより、完璧な品質だけでなく最高の経済性を兼ね備えたエンジンを提供します。ひどい損傷を受けたエンジンの修理の方が、BMW の交換エンジンよりも高くつくこともあります。

完全保証で完璧なオーバーホール :電子制御ユニット

これはオルタネータや電子制御ユニットにも同じことが当てはまりますが、関連する構成パーツの場合はBMWではなくオリジナルのサプライヤーがオーバーホールを行います。

ここでも、モービル・トラディションは実績のあるサプライヤーや厳選されたスペシャリストと密接に協力しています。交換パーツの供給を十分に確保するために、BMW モービル・トラディションは、ミュンヘンにあるBMWのリサイクリングセンターやBMW リテール・アウトレットと協力しています。また、セントラル・ウェアハウスに集められた正規BMWディーラーからの使用済みパーツは、綿密に調査、分類されて修理の準備が整えられています。

この工程では、それぞれのパーツがどこから来たもので、誰の担当で、どんな修理が施されたかを明記した書類が作成されます。これらのパーツにも新品パーツ同様の保証期間が適用されるので、非常に重要となります。もし不備があってもパーツヒストリーには正確な記録が記されているので、その原因を特定することが可能です。

全てのディテールに愛を オリジナル BMW アクセサリー

他の自動車メーカーと異なり、モービル・トラディションは使用済みパーツではなく新品または調整済みのパーツだけを提供します。クラシックカーやクラシックバイクの専門家は、どのパーツを使えば問題が解決されるか、そのアドバイスを行います。これにはもちろんアクセサリーも含まれており、1970年代に生産された02シリーズのフットマットや、1950年代に生産されたBMW R 25/3 バイクのクラシックタンクバッグもBMW モービル・トラディションでは入手可能です。

モービル・トラディションは、品質の要求を満たすパーツを提供できるサプライヤーが市場に存在しない場合の再生産に中心的な能力を発揮します。最近の例を

挙げると、その揺れるようなラインから“バロック・エンジェル”という別名が付いた501/502 セダン用フロントホイールアーチの復刻版の供給を小規模ながら開始しています。また、1950年代に生産されたクラシック BMW バイク用のホイールアーチやタンクは、半世紀前と同じ手法でプラント特有のデカルラインが手で描かれています。もはやオリジナルを超えています。

新品パーツから BMW 2002 tii を復元

特に戦後のモデルの復元パーツは着実に増えています。現在では、1970年代に生産された02シリーズの90%以上のパーツが入手可能となっています。

ここ最近では、モービル・トラディションの2人のマスター・メカニックが、新品のパーツから02シリーズをオリジナルボディカラーのホワイトで復元しました。そのアッセンブリ工程は、ミュンヘンのオリンピックタワーに近接するBMWミュージアム・エキシビションの特設会場“ガラス・ワークショップ”で行われ、ライブで行われるアッセンブリ工程に何千ものビジターが興奮しました。

11ヵ月の期間をかけ、7,000ものパーツが使われた2006年製のBMW 2002tiiは、エッセンで開催された世界最大のクラシックカーイベントであるテクノ・クラシカ・ショーでひとときわ注目を集めました。

次にミュージアムのビジターの目の前で復元されたのは、初代 BMW 5 シリーズ、BMW 525です。そして現在、南アフリカのBMW工場から来た非常にレアなBMW 2004がオリジナルの状態に戻されています。どちらのモデルにも、モービル・トラディションから供給されたオリジナルパーツが使われています。

クラシックパーツもインターネットやディーラーで注文

クラシック BMW のスペアパーツの注文も、他のパーツと同様に簡単に行えます。クラシックパーツのロジスティクス・システムはBMWの世界的なサービスネットワークに全て集積されているので、世界中どこにいても、一番近いBMWディーラーから注文することが可能です。

BMW モービル・トラディションでは、四半期に一度、復元されたパーツのリストをクラシック BMW のドライバーやライダーに発送し、常に最新の情報を提供しています。

また、利用できるパーツの全カタログはインターネット上にリストアップされ、随時更新されています。

パーツはモデルシリーズごとに分類され、展開図ならびにパーツナンバーで区別されているので、特定のパーツを探す場合にもここで必要な情報を得ることができます。

さらにBMW モービル・トラディションが管轄する全ての車では、修理手順のDVDが利用可能です。

オンラインのパーツカタログは、www.bmw-mobiletradition.comから登録後に閲覧できます。登録は無料で、とても簡単です。

BMW モービル・トラディションでは、BMW ディーラーや個人に対し、リストアやメンテナンス過程で起こりうる問題や質問へのサポートを行い、修理に関しては専門家が適切なパーツやヒント、代替パーツなど問題解決に向けたソリューションを提供しています。詳しいエンジンのチューン方法、クラシック BMW に必要なオイルやガソリンなどの情報も提供しています。

つまりBMW モービル・トラディションは、「駆けぬける喜び」を長期にわたって保証することを究極の目的としているのです。